

峰見一輝氏（共同発表者：津村早紀氏・矢野雅貴氏）

発表タイトル: 「日本人学習者による英語 filler-gap 依存関係の処理—自己ペース読文実験による検討—」

本発表は、日本人英語学習者が英語の filler-gap 依存関係を処理する際に、Active Gap Filling は行っているが、Hyper-Active Gap Filling は行っていない可能性を、自己ペース読文実験を用いて示したものである。質疑応答でも質問者の意図を汲み取ったうえで適切に対応していた。